

下甌郷土館だより

◎ ようこそ手打海岸へ !

♪♪「名も知らぬ遠き島より、流れ寄るヤシの実一つ」で始まる余りにも有名な島崎藤村の抒情歌。

明治時代、愛知県の伊良湖岬に滞在していた民俗学者の柳田國男が、浜に流れ着いたヤシの実の話を藤村に語ったところ、藤村がその話を元に創作。昭和になって曲が付けられ一気に広まった。

手打海岸にはいろいろな物が漂着するが、久しぶりにヤシの実が打ち上っていた。南国から黒潮に乗って北上し、屋久島西方のトカラ海峡付近で黒潮の本流（太平洋側）と別れた支流（九州西側）に乗って流れ着いたのだろう。どなたか、藤村に代わって詩を付けてください。



《ピックアップ》 写真展「下甌島で見られる野鳥」



手打在住の蔵野量夫さんが撮影した野鳥の写真展が、郷土館の研修室で開かれている。（10月中旬まで）

全て下甌島で撮影した鳥で、春～冬までの渡り鳥や留鳥などをA4サイズで84種類を展示。鹿児島県では滅多に見られない数種類の鳥もあり、マニアに感動を与えている。

***郷土館は新型コロナウイルス感染拡大の防止と予防のため、5月6日まで休館していますが、再開は下記にお問い合わせください。**

下甌郷土館（手打 1031 番地） Tel. 09969-7-0419（月・火・祝日は休館）
手打地区コミュニティ協議会 Tel. 09969-7-0928